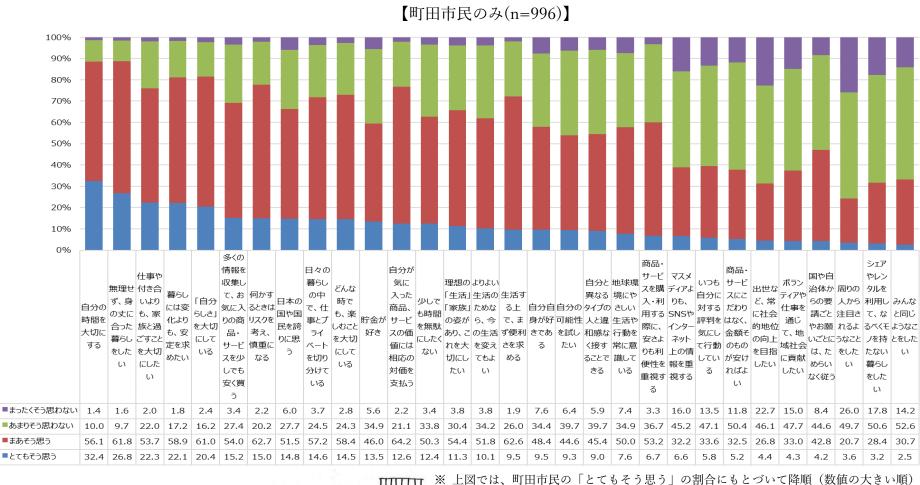
2. 生活価値観 1)生活価値観項目の反応 ①町田市民全体

町田市民の生活価値観をみると、 「自分」「安定」といった価値観キー ワードが上位に。

- 生活価値観に関する各設問(30項目)に対する町田市民の『とてもそう思う』という回答に着目すると、「自分の時間を大切にする」が最上位となる。
- 次いで、「無理せず、身の丈に合った 暮らしをしたい」「仕事や付き合いより も家族と過ごすことを大事にしたい」 「暮らしには変化よりも安定を求めた い」「自分らしさを大切にしている」が 列挙される。このように、「自分」や「安 定=無理しない」といった内向的な意 見が上位を占める。
- ▶ なお、『とてもそう思う』に『まあそう思う』を加えると、「無理せず、身の丈に合った暮らしをしたい」が最上位になり、続いて「自分の時間を大切にする」「自分らしさを大切にしている」「暮らしには変化よりも安定を求めたい」が上位に列挙される。

Q15 あなたは、日々の生活の中で、次に挙げる事柄についてどのように思われますか。 (ひとつずつ)



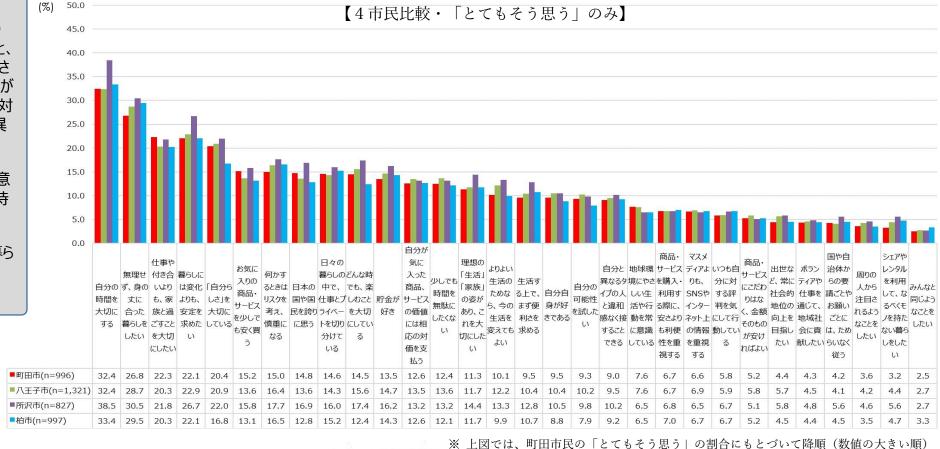


2. 生活価値観 1) 生活価値観項目の反応 ② 4 市民比較

郊外居住者である4市民の生活価値観は概ね同様の傾向がみられる。

- ▶ 生活価値観に関する各設問(30項目)に対する町田市民含む4市民の『とてもそう思う』という回答に着目すると、「自分の時間を大切にする」「自分らしさを大切にしている」において、若干差異がみられるものの、概ね町田市民と比較対象の他の3市民との間で、顕著な差異はみられない。
- ▶ 町田市民を含む4市民が最も強く賛意 を示す価値観項目としては、「自分の時間を大切にする」である。
- 次いで、「無理せず、身の丈に合った暮ら しをする」「暮らしには変化よりも安定を 求める」などが続く。

Q15 あなたは、日々の生活の中で、次に挙げる事柄についてどのようにお考えですか。そう思う事柄を選んでください。(ひとつずつ)



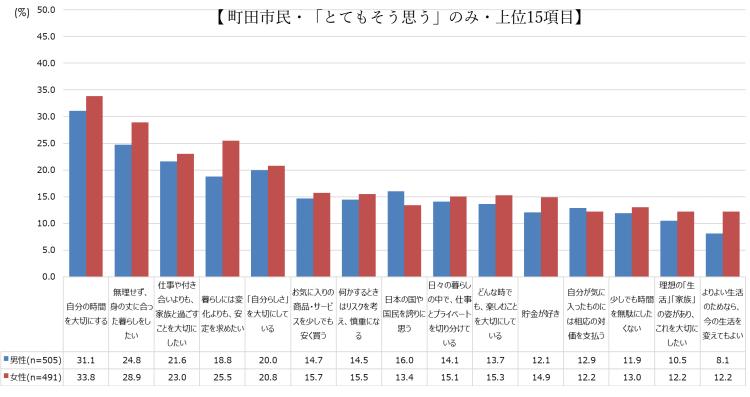


2. 生活価値観 1)生活価値観項目の反応 ③町田市民のみ・属性分析(性別)

町田市民における生活価値観では、顕著な性差はみられない。

▶ 生活価値観に関する各設問(30項目)に対する町田市民の『とてもそう思う』という回答に着目すると、「暮らしには変化よりも安定を求めたい」という価値観において、女性の方が男性よりも肯定しているものの、全体として本調査で取り上げた価値観項目では、性差はみられない。

Q15 あなたは、日々の生活の中で、次に挙げる事柄についてどのようにお考えですか。そう思う事柄を選んでください。(ひとつずつ)



※上図では、町田市民の「とてもそう思う」の割合にもとづいて降順(数値の大きい順)で表記している。

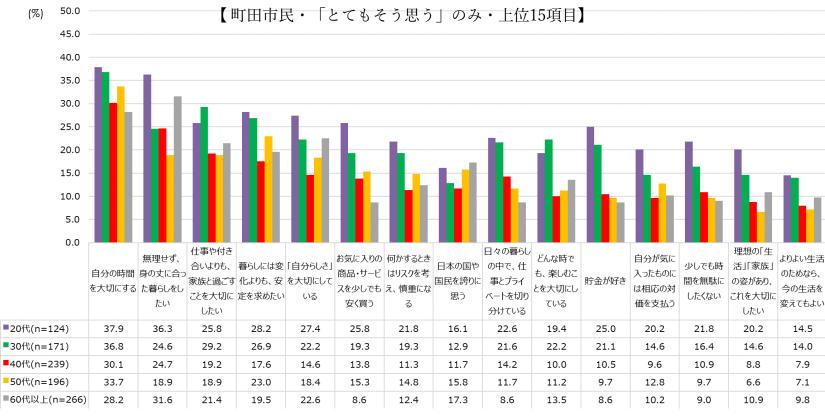


2. 生活価値観 1)生活価値観項目の反応 ③町田市民のみ・属性分析(年代別)

町田市民のうち、若年層ほど様々な生活価値 観を有しており、年代(世代)による差異がみ られる。

- ▶ 生活価値観に関する各設問(30項目)に対する町田市民の『とてもそう思う』という回答に着目すると、全体的に年代により生活価値観の差異がみられる。
- ▶ 本調査で取り上げた生活価値観項目については、 若年層ほど多面的に反応している、すなわち価値 観が多様化しているといえそうである。
- ▶ 特に、町田市民全体で上位15項目の生活価値 観のうち、一部を除き概ね20~30代の若年層が 40代以上よりも感じている。
- ▶ 一方、「無理せず、身の丈に合った暮らしをしたい 「『自分らしさ』を大切にしている」という生活価値観 については、20代の若年層だけではなく、60代以 トも30~50代よりも感じている。

Q15 あなたは、日々の生活の中で、次に挙げる事柄についてどのようにお考えですか。そう思う 事柄を選んでください。(ひとつずつ)





2. 生活価値観 2) ライフスタイルの抽出 ①因子分析(ライフスタイルの構成要素の整理)

5つの生活価値観因子(価値観の形成要素)を抽出。

▶ 30項目からなる生活価値観に関する各設問に対する4市民の回答状 況について因子分析を行った結果、これらの設問群の背景にある因子 (集約される意味) として、以下の5つを抽出した。

「安定志向」 : 暮らしには変化よりも安定を求めたい 他

「同調志向」 :いつも自分に対する評判を気にして行動している 他 「社会派志向」 : ボランティアや仕事を通じて地域社会に貢献したい 他

「自分価値志向」 :自分の可能性を試したい 他

「コスパ実利志向」: 購入や利用時には安さよりも利便性を重視する 他

Q15 あなたは、日々の生 活の中で、次に挙げ る事柄についてどの ようにお考えですか。 そう思う事柄を選ん でください。

(ひとつずつ)

【4市民合計 (n=4,1,41) 】

因子番号	因子解釈	初期の固有値	分散の %	累積 %	
第1因子	安定志向	7.7	25.7	25.7	
第2因子	同調志向	2.7	9.1	34.8	
第3因子	社会派志向	1.9	6.4	41.2	
第4因子	自分価値志向	1.3	4.4	45.7	
第6因子	コスパ実利志向	1.0	3.4	49.0	

因子抽出法: 最尤法

回転法: Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

	因子						
【4市民合計 (n=4,1,41) 】	1	2	3	4	5		
[41]]X[] [1] (11—4,1,41)	安定志向	同調志向	社会派志向	自分価値志向	コスパ実利志向		
暮らしには変化よりも、安定を求めたい	0.707	0.104	-0.015	-0.133	0.026		
無理せず、身の丈に合った暮らしをしたい	0.675	-0.134	0.069	0.073	-0.047		
何かするときはリスクを考え、慎重になる	0.527	0.208	-0.073	0.060	0.029		
仕事や付き合いよりも、家族と過ごすことを大切にしたい	0.498	-0.019	0.161	0.035	0.026		
多くの情報を収集して、お気に入りの商品・サービスを少しでも安く買う	0.377	0.328	-0.061	0.261	-0.157		
生活する上で、まず便利さを求める	0.301	0.274	-0.180	0.203	0.181		
理想の「生活」「家族」の姿があり、これを大切にしたい	0.280	0.140	0.209	0.237	0.027		
いつも自分に対する評判を気にして行動している	0.079	0.684	-0.086	-0.025	0.033		
みんなと同じようなことをしたい	0.119	0.583	0.173	-0.336	0.084		
商品・サービスにこだわりはなく、金額そのものが安ければよい	0.233	0.527	0.091	-0.084	-0.351		
周りの人から注目されるようなことをしたい	-0.351	0.518	0.147	0.297	0.003		
出世など、常に社会的地位の向上を目指したい	-0.291	0.511	0.081	0.293	0.044		
マスメディアよりも、SNSやインターネット上の情報を重視する	0.042	0.428	-0.064	0.117	0.044		
少しでも時間を無駄にしたくない	0.205	0.300	-0.110	0.300	0.010		
貯金が好き	0.290	0.296	0.029	0.103	-0.088		
ボランティアや仕事を通じて、地域社会に貢献したい	-0.111	0.055	0.643	0.057	-0.011		
地球環境にやさしい生活や行動を常に意識している	0.088	-0.030	0.602	0.097	0.023		
自分自身が好きである	0.031	-0.130	0.382	0.343	0.007		
国や自治体からの要請ごとやお願いごとには、ためらいなく従う	0.179	0.231	0.371	-0.139	0.145		
シェアやレンタルを利用して、なるべくモノを持たない暮らしをしたい	-0.009	0.226	0.338	0.036	-0.058		
日本の国や国民を誇りに思う	0.221	0.059	0.324	0.035	0.079		
自分の可能性を試したい	-0.193	0.150	0.166	0.600	-0.003		
「自分らしさ」を大切にしている	0.256	-0.226	0.129	0.563	0.001		
自分の時間を大切にする	0.440	-0.149	-0.134	0.466	0.013		
どんな時でも、楽しむことを大切にしている	0.192	-0.087	0.255	0.445	0.026		
よりよい生活のためなら、今の生活を変えてもよい	0.037	0.207	-0.098	0.401	0.083		
自分と異なるタイプ(国籍、職業、生活リズム等)の人と違和感なく 接することできる	-0.025	-0.037	0.338	0.390	-0.002		
日々の暮らしの中で、仕事とプライベートを切り分けている	0.284	0.000	0.068	0.344	0.041		
商品・サービスを購入・利用する際に、安さよりも利便性を重視する	0.042	0.056	0.115	0.140	0.500		
自分が気に入った商品、サービスの価値には相応の対価を支払う	0.156	-0.101	0.020	0.367	0.369		



2. 生活価値観 2) ライフスタイルの抽出 ②クラスター分析(因子の組み合わせによるタイプ分類)

5つの生活価値観ベースのライフスタイルを抽出。

▶ クラスター分析により、前頁で抽出した5つの生活価値観因子(価値観の形成要素)の統計学的な組み合わせから、5つのクラスター(生活価値観ベースのライフスタイル)を抽出した。

「身の丈安定タイプ」: 社会貢献も考えず、周りの評判を気にせず、ただ安定志向なタイプ

「自己超越欲求タイプ」: 周りの評判を強く気にしながら、社会貢献を意識する一方、とにかく自分

の可能性を高めたい、というタイプ

「消極的同調タイプ」 : 突出した特徴はないものの、自身の安定さはさほど求めず、また周りの評

判も若干気にしているタイプ

「自己満足タイプ」: とにかく自身の暮らしに安定を求めている。その中で、周りの評判を気に

せず、ふだんから費用対効果を求めたり、自分の可能性を試しているタイ

プ。

「その日暮らしタイプ」 : 日々の暮らしに安定を求めず、自分の可能性を試すわけでもなく、費用

対効果を意識するわけでもなく、社会貢献の意欲もなく、総じて日々を

刹那に暮らすタイプ

最もサンプルサイズが多いのは、「消極的同調タイプ」で、次いで『身の丈安定タイプ』である。

反対に、最もサンプルサイズが少ないのは、『その日暮らしタイプ』である。

Q15 あなたは、日々の生活の中で、次に挙げる事柄についてどのようにお考えですか。そう思う事柄を選んでください。(ひとつずつ)

【4市民合計 (n=4,1,41) 】

	クラスタ					
	1	2	3	4	5	
	身の丈安定	自己超越欲求	消極的同調	自己満足	その日暮らし	
	タイプ	タイプ	タイプ	タイプ	タイプ	
安定志向	0.204	0.328	-0.339	0.856	-1.672	
同調志向	-0.608	1.239	0.208	-0.407	-0.789	
社会派志向	-0.771	1.062	0.166	0.151	-1.048	
自分価値志向	-0.596	0.995	-0.005	0.454	-1.364	
コスパ実利志向	-0.470	0.710	-0.015	0.479	-1.139	
4 市合計によるサンプルサイズ	921	717	1,355	774	374	

■生活価値観因子

「安定志向」 : 暮らしには変化よりも安定を求めたい 他

「同調志向」 : いつも自分に対する評判を気にして行動している 他

「社会派志向」 : ボランティアや仕事を通じて地域社会に貢献したい 他

「自分価値志向」: 自分の可能性を試したい他

「コスパ実利志向」: 購入や利用時には安さよりも利便性を重視する 他



2. 生活価値観 2) ライフスタイルの抽出 ③ 4 市民比較

町田市民の生活価値観のタイプの構成比は、平均的な郊外生活者の傾向といえる。

- ▶ 生活価値観ベースの5つのライフスタイルの構成比率をみると、町田市 民を含む4市民の間で顕著な差異はみられない。
- ▶ 町田市民に着目すると、各ライフスタイルの構成比率は、4市民合計 における比率とほぼ同じ水準にある。

Q15 あなたは、日々の生活の中で、次に挙げる事柄についてどのようにお考えですか。そう思う事柄を選んでください。(ひとつずつ)

【4市民比較】

/ \		
	•	X 1
(単位		ハノ

	4市合計	町田市	八王子市	所沢市	柏市
合計	4,141	996	1,321	827	997
身の丈安定タイプ	921	204	302	192	223
自己超越欲求タイプ	717	173	220	158	166
消極的同調タイプ	1,355	338	421	242	354
自己満足タイプ	774	194	237	162	181
その日暮らしタイプ	374	87	141	73	73

(単位:%)

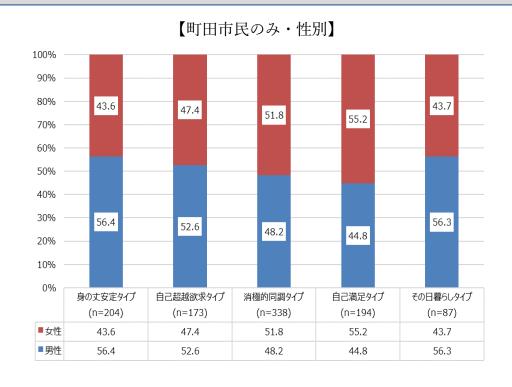
					<u> </u>
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
身の丈安定タイプ	22.2	20.5	22.9	23.2	22.4
自己超越欲求タイプ	17.3	17.4	16.7	19.1	16.6
消極的同調タイプ	32.7	33.9	31.9	29.3	35.5
自己満足タイプ	18.7	19.5	17.9	19.6	18.2
その日暮らしタイプ	9.0	8.7	10.7	8.8	7.3

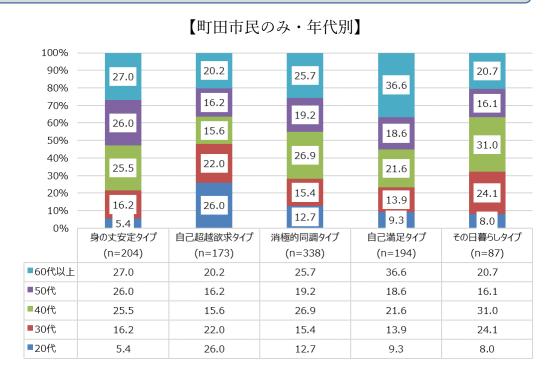


2. 生活価値観 2) ライフスタイルの抽出 ④町田市民のみ・属性分析(性別/年代別)

町田市民に限ってみると、性・年代により「身の丈安定」「自己超越欲求」「その日暮らし」「自己満足」の各ライフスタイルのタイプに特徴がみられる。

- ▶ 町田市民のうち、男性は女性よりも「身の丈安定タイプ」「自己超越欲求タイプ」「その日暮らしタイプ」の比率が高い。反対に、「自己満足タイプ」では男性よりも女性の比率が高い。
- ▶ 町田市民に限ってみると、「身の丈安定タイプ」「自己満足タイプ」については、いずれも50代以上の比率が高い。反対に、「自己超越欲求タイプ」では20~30歳、「その日暮らしタイプ」では30~40代の比率が高い。





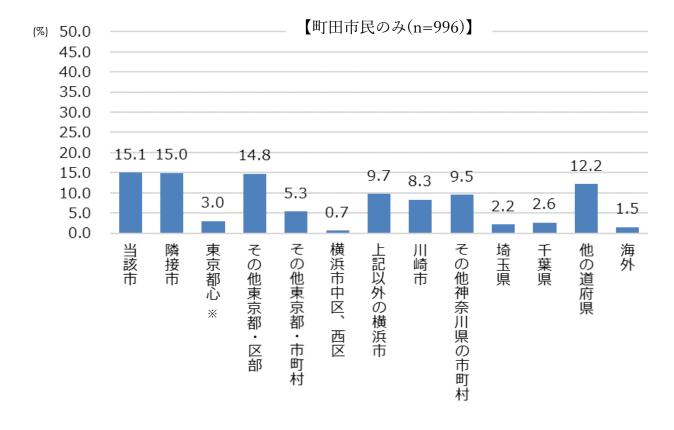


3. 現住地との関わり 1)前住地 ①町田市民全体

現在の町田市民は、当地出身の他、隣接市区や鉄道線に沿った市区から転入している。

- 町田市出身者(当該市での継続居住)は、現在の居住者の 15%である。
- それとほぼ同じ割合で、「隣接市(八王子市、多摩市、横浜市 (瀬谷区、緑区、青葉区)、川崎市(麻生区)、相模原市、 大和市)」あるいは「(東京都心※を除く)その他東京都・区 部」からの転入となっている。
- ※「東京都心」:千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、 渋谷区、台東区
- ▶ また、およそ1割が「横浜市(中区、西区を除く)をはじめ、「横 浜市や川崎市、相模原市を除く、神奈川県」「麻生区を除く川崎 市」から転入している。

Q3 町田市にお住まいになる直前には、どちらにお住まいでしたか。(ひとつだけ)



※「東京都心」:千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、渋谷区、台東区

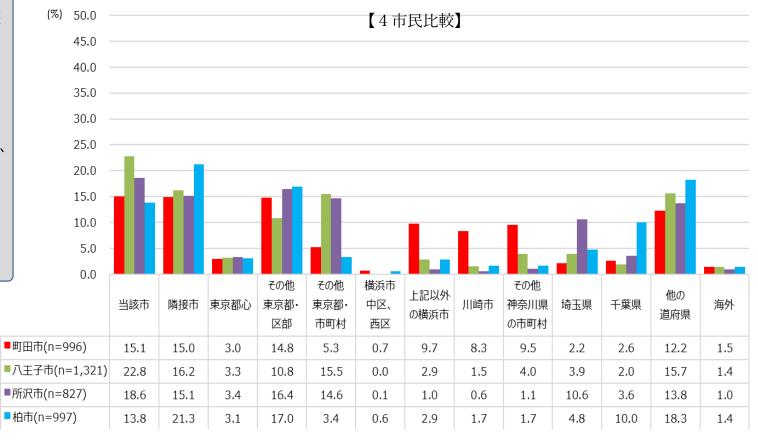


3. 現住地との関わり 1) 前住地 ② 4 市民比較

現在の町田市民は、当地出身の他、隣接市区や鉄道線に沿った市区から転入している。

- ▶ 隣接する八王子市民と比べると、町田市民における出身者(当該市)の比率は低い。また、「(隣接する市を除く)その他東京都・市町村」からの転入比率も低い。
- ▶ 反対に、横浜市をはじめ川崎市、その他神奈川県から転入してきた人の比率は、町田市民の方が八王子市民より高い。
- ▶ 同様に、東京都区部(東京都心部含む)からの転入者の比率も、 町田市民の方が八王子市民よりも高い。
- ▶ なお、当該市出身者(継続居住)の比率は、少なくとも町田市 民と柏市民との間ではほとんど差異はみられない。同様に、東京都 区部(都心部含む)からの転入者の比率についても、柏市民との 間で顕著な差異はみられない。

Q3 ○○市にお住まいになる直前には、どちらにお住まいでしたか。(ひとつだけ) ※○○市:町田市、八王子市、所沢市、柏市



※「東京都心」:千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、渋谷区、台東区



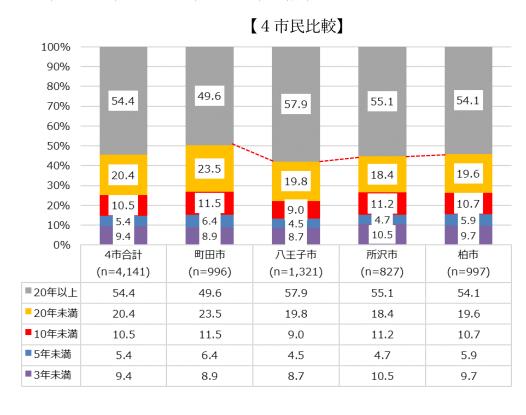
3. 現住地との関わり 2)居住年数 ①4市民比較

居住年数からみて、現在の町田市民は他の3市民と比べて2000年代初頭に転入した人が多いと思われる。

- ▶ 居住歴20年以上の割合をみると、町田市民がおよそ5割に対して、他の3市民では5割超となっている。
- ▶ 一方、居住歴20年未満の比率では、町田市民が他の3市民よりも高い。
- なお、居住歴10年未満の割合をみると、町田市民をはじめ所沢市民、柏市民はほぼ同じ水準であるが、八王子市民のそれは低い水準にある。

Q1 あなたが、○○市にお住まいになって、何年(過去に住んでいた期間も含む)になりますか。 (ひとつだけ)

※○○市:町田市、八王子市、所沢市、柏市



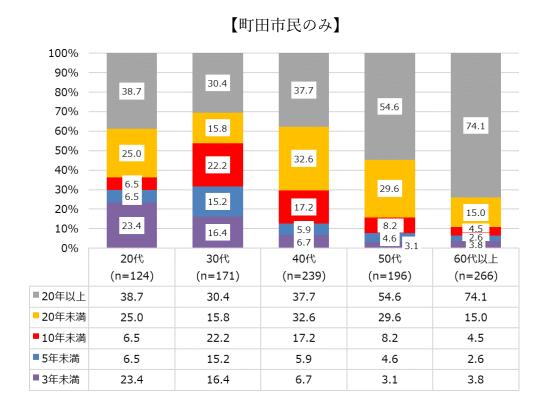


3. 現住地との関わり 2) 居住年数 ②町田市民のみ・属性分析(年代別)

町田市民の20代のおよそ4割は町田市出身と思われる。

- ▶ 町田市民の30代以上では、年齢が上がるにしたがって、居住年数 が長くなる傾向がみられる。
- 20代については、居住年数3年未満が多い反面、20年以上の割合が30代よりも高い。つまり、20代では町田市出身が多いと考えられる。

Q1 あなたが、町田市にお住まいになって、何年(過去に住んでいた期間も含む)になりますか。 (ひとつだけ)



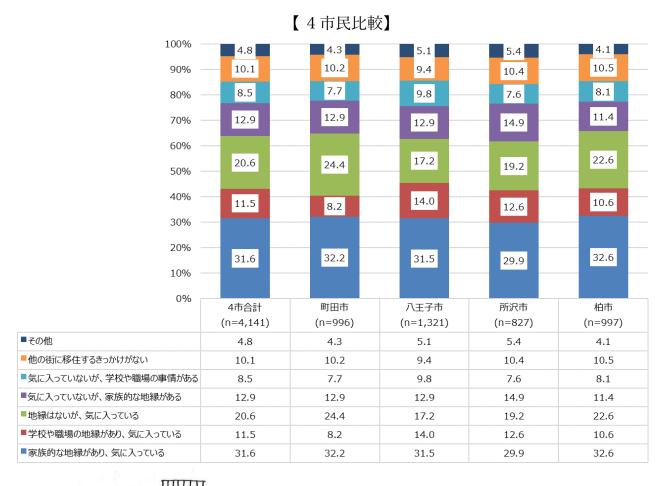


3. 現住地との関わり 3)居住理由 ①4市民比較

町田市民の1/4は、「地縁はないが気に入っている」ことから住んでいる。この比率は、隣接する八王子市民よりも高い。

- ▶ 「家族にかかわる地縁で当地に住む」という理由においては、町田市民と他の3市民との間で差異はみられない。
- ▶ 町田市民と隣接する八王子市民を比べると、「学校や職場という 地縁があり、気に入っている」では八王子市民の方が、「(家族や 学校・職場といった)地縁はないが、気に入っている」では町田市 市民の方が、それぞれ比率が高い。特に、現在の町田市民のおよ そ1/4は「地縁はないが、気に入っている」としている。

Q2 あなたが、現在○○市にお住まいになっているのは、どのような理由からですか。 (ひとつだけ) ※○○市:町田市、八王子市、所沢市、柏市



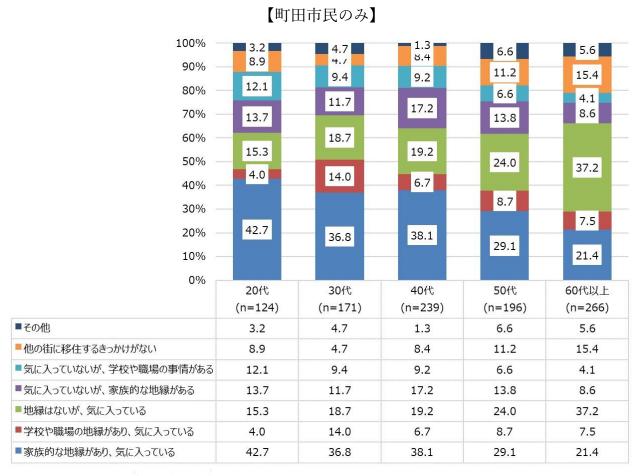


3. 現住地との関わり 3)居住理由 ②町田市民のみ・属性分析(年代別)

町田市民のうち、若年層ほど「家族的な地縁の割合」が、 年代が高い人ほど「地縁はないが気に入っている」の割合 が高い。

- ▶ 町田市民のうち、若年層ほど「家族的な地縁や事情があり、街を気に入っている」という理由が高い。
- ▶ 反対に、年代が高い人ほど「地縁はないが、この街を気に入っている」という理由を挙げている。先述の居住年数の長さも勘案すると、不動産価格が高騰する1985年~1995年に30~40代であった人たちが、町田市を含む郊外に特に地縁もないままに移住してきた、ということが想定される。
- ▶ なお、30代では他の年代と比べて「学校や職場の地縁があり、 この街を気に入っている」という理由の割合が高い。

Q2 あなたが、現在町田市にお住まいになっているのは、どのような理由からですか。 (ひとつだけ)



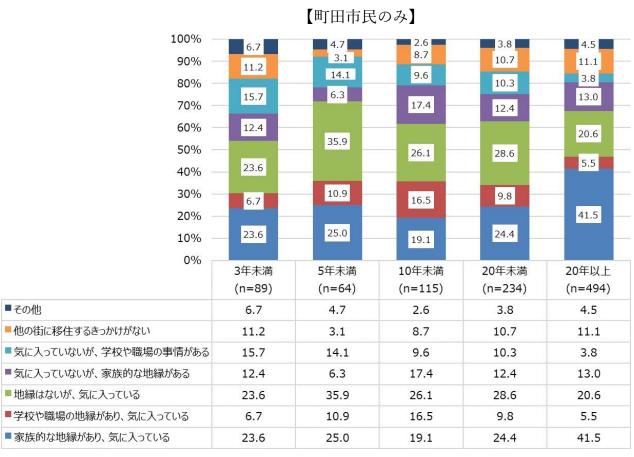


3. 現住地との関わり 3)居住理由 ②町田市民のみ・属性分析(居住年数別)

居住歴が5年未満と5年以上の間で、居住理由の傾向の違いがみられる。

- 町田市民のうち、居住歴が5年未満と5年以上の間で、ひとつの傾向差があるようだ。
- 転入から居住期間が短い「3年未満」と「3年以上、5年未満」を 比較すると、「地縁はないが気に入っている」を理由とする人が大幅 に増えている。反対に、「気に入っていないが、家族的地縁がある」 「他の街に移住するきっかけがない」は減少している。
- ▶ 一方、5年以上をみると、居住期間が長くになるにしたがって、「家族的な地縁があり、気に入っている」の比率が高くなり、反対に「学校や職場の地縁があり、気に入っている」「地縁はないが気に入っている」の割合が減少する傾向を示している。

Q2 あなたが、現在町田市にお住まいになっているのは、どのような理由からですか。 (ひとつだけ)





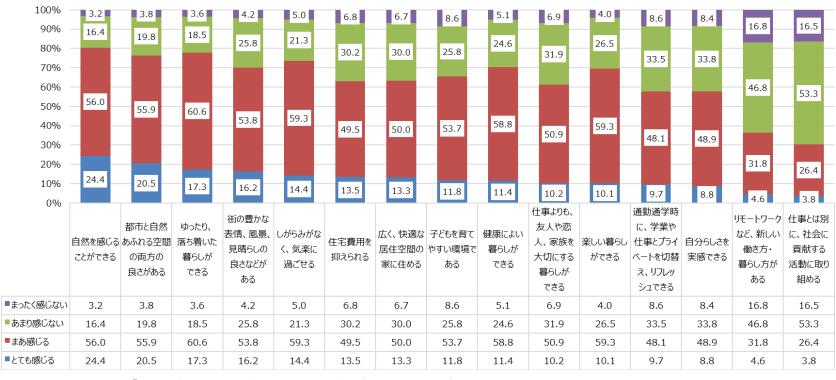
3. 現住地との関わり 4) 郊外に住む理由 ①町田市民全体

町田市民からみた「郊外生活の価値」とは、 「自然を感じることができる」「都市と自然あふれる空間の両方の良さがある」「ゆったり、落 ち着いた暮らしができる」。

- 町田市民の「郊外に暮らすことの価値」(『とても感じる』のみ)についてにみると、「自然を感じることができる」が最上位に挙げられ、次いで「都市と自然あふれる空間の両方の良さがある」「ゆったり、落ち着いた暮らしができる」「街の豊かな表情、風景、見晴らしのよさなどがある」が列挙される。
- 『とても感じる』に『まあ感じる』を加えると、町田市民のおよそ8割が、「自然を感じることができる」「ゆったり、落ち着いた暮らしができる」「都市と自然あふれる空間の両方の良さがある」を上位に挙げている。
- 一方、「リモートワークなど、新しい働き方、暮らし方がある」については36%で、本調査で取り上げた他の郊外生活の魅力要素の中では、下位にある。

Q5 あなたは「郊外で暮らす」ことについて、どのようにお感じになっていますか。(ひとつずつ)





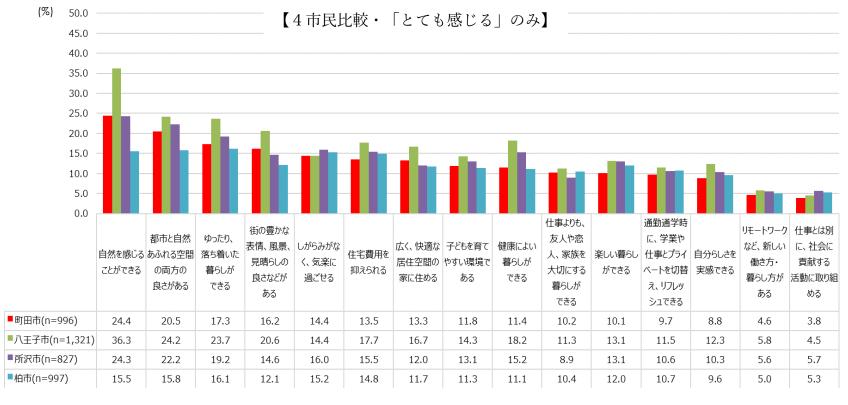


3. 現住地との関わり 4) 郊外に住む理由 ②4市民比較

八王子市民は、町田市民を含む他の3市民よりも、郊外生活の価値を多面的に捉えている。

- ▶ 町田市民を含む4市民の「郊外に暮らすことの価値」(『とても感じる』のみ)についてみると、全般的に八王子市民は町田市民を含む他の3市民よりも「郊外生活の価値」を多面的に感じている。
- ➤ その中でも、八王子市民における「自然を感じることができる」の比率は、4市民の中で顕著に高い。他にも、「ゆったり、落ち着いた暮らしができる」「街の豊かな表情、風景、見晴らしの良さ」「健康に良い暮らしができる」「広く、快適な居住空間の家に住める」についても、八王子市民は町田市民を含む他の3市民よりも「郊外生活の価値」として認識している。
- 町田市民の「郊外に暮らす価値」に対する傾向は、 概ね所沢市民に近似している。

Q5 あなたは「郊外で暮らす」ことについて、どのようにお感じになっていますか。(ひとつずつ)



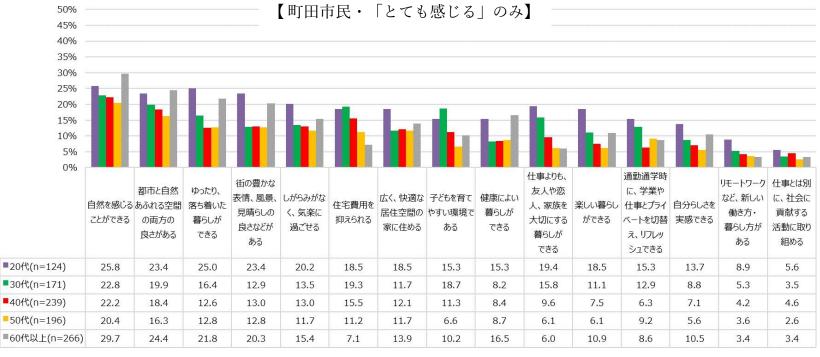


3. 現住地との関わり 4) 郊外に住む理由 ③町田市民のみ・属性分析(年代別)

町田市民では、年代により郊外生活の価値評価は異なる。

- ▶ 町田市民の「郊外に暮らすことの価値」(『とても感じる』のみ)について年代別にみると、若年層ほど「しがらみなく暮らせる」「住宅費用を抑えられる」「仕事よりも友人や恋人、家族を大切にする暮らし」「楽しい暮らしができる」「学業や仕事とプライベートを切り替えできる」といったように、多面的に認識している。
- ▶ また、「都市と自然あふれる空間の両方の良さがある」「ゆったり、落ち着いた暮らしができる」「街の豊かな表情、風景、見晴らしの良さなどがある」「健康に良いくらしができる」については、20代だけではなく60代以上で認識している人が多い(30~50代では認識している人が少ない)という傾向がみられる。

Q5 あなたは「郊外で暮らす」ことについて、どのようにお感じになっていますか。 (ひとつずつ)



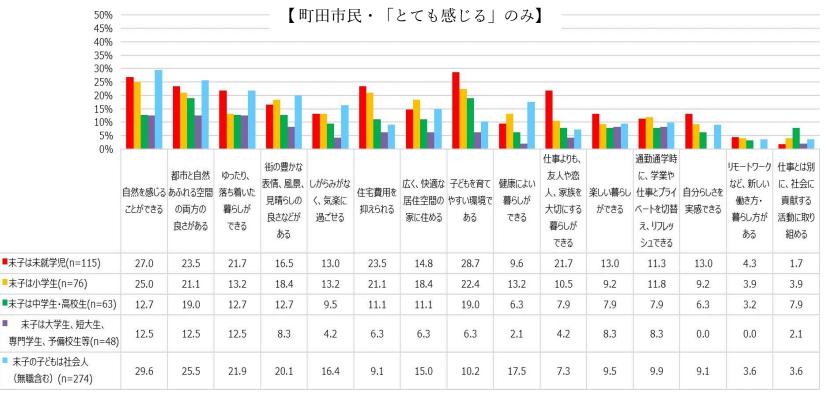


3. 現住地との関わり 4) 郊外に住む理由 ③町田市民のみ・属性分析(末子学齢別)

町田市民のうち、特に子育て層(主に30代) と末子が社会人(主に60代以上)は郊外生 活の価値を多面的に認識している。

- ▶ 町田市民の「郊外に暮らすことの価値」(『とても感じる』のみ)についてライフステージ(末子の学齢)別にみると、最上位の「自然を感じることができる」については、「末子が未就学児または小学生」の人(主に30~40代)と、「末子は社会人」の人(主に60代以上)が特に認識している。
- ▶ 「住宅費用を抑えられる」「子どもを育てやすい環境である」については、「末子が未就学児または小学生」の人(主に30~40代)が認識している。
- ▶ さらに「仕事よりも友人や恋人、家族を大切にする 暮らし」では、特に「末子が未就学児」の人(主に 30代)が認識している。
- ▶ 反対に、「健康に良い暮らしができる」では、「末子が 社会人」の人(主に60代以上)が特に認識してい る。

Q5 あなたは「郊外で暮らす」ことについて、どのようにお感じになっていますか。(ひとつずつ)



※ 上図では、見やすさを考慮して「子どもはいない (n=420) 」を省略している。 上図では、町田市民の「とても感じる」の割合にもとづいて降順(数値の大きい順)で表記している。



3. 現住地との関わり 4) 郊外に住む理由 ③町田市民のみ・ライフスタイル分析

町田市民のうち、自身の可能性を高めたいというタイプの人は、郊外生活に多面的に魅力を感じている。

- ▶ 町田市民の「郊外に暮らすことの価値」(『とても感じる』の み)について生活価値観ベースのライフスタイル別にみると、 『自己超越欲求タイプ』の人は郊外生活の価値を多面的にとら えている。
- ▶ また『自己満足タイプ』の人も、「自然を感じることができる」「都市と自然あふれる空間の両方の良さがある」をはじめ、郊外生活価値の多くを認識している。
- 反対に、『その日暮らしタイプ』の人は、郊外生活の価値に対する認識が全般的に希薄といえる。

■生活価値観によるタイプ分類

「身の丈安定タイプ」 : 社会貢献も考えず、周りの評判を気にせず、ただ安定志向なタイプ

「自己超越欲求タイプ」: 周りの評判を強く気にしながら、社会貢献を意識する一方、とにかく

自分の可能性を高めたい、というタイプ

「消極的同調タイプ」 : 突出した特徴はないものの、自身の安定さはさほど求めず、また周り

の評判も若干気にしているタイプ

「自己満足タイプ」 : とにかく自身の暮らしに安定を求めている。その中で、周りの評判を

気にせず、ふだんから費用対効果を求めたり、自分の可能性を試し

ているタイプ。

「その日暮らしタイプ」 : 日々の暮らしに安定を求めず、自分の可能性を試すわけでもなく、

費用対効果を意識するわけでもなく、社会貢献の意欲もなく、総じ

て日々を刹那に暮らすタイプ

Q5 あなたは「郊外で暮らす」ことについて、どのようにお感じになっていますか。(ひとつずつ)

